

もっと多くの花で通りの連続感を演出できないか

水やり等の管理体制も含め検討している



廣中 清介
無派不撓クラブ

中心市街地の更なる活性化への取り組みについて

- 問** 今年度から進められるまちなか案内板やサイン看板の設計に市民の声は反映されるのか。
- 答** 田原中部地区景観まちづくり検討会にて意見を聞きながら進めていく。
- 問** 軒先ベンチ提供事業についてはどのように実施するのか。
- 答** まちなか賑わいづくり実行委員会を実施主体とし、歴史ウォーキングトレイル沿いを中心に店舗等での設置を想定している。
- 問** ララグランに導入された電動アシスト付レンタルサイクル「LaLaチャリ」の主たるターゲットと効果は。
- 答** 主に鉄道で訪れる観光客をメインターゲットにした観光利用を目的としている。新しい2次交通として活用でき誘客効果を高めるものとする。
- 問** 案内板や軒先ベンチ、レンタルサイクルに四つ葉をあしらうことで「幸せの四つ葉プロジェクト事業」をサポートできないか。
- 答** 関係団体と検討させていただく。

- 問** 「シンボルロード花いっぱい事業」において、新たな取り組みは。
- 答** 手筒花火の筒を使った花壇を、商店や民家に飾ってもらえるよう検討している。
- 問** 三河田原駅から萱町交差点までは、ハンギングフラワーだけとなっている。もっと多くの花を使うことで、駅からはなとき通りまでの連続感を演出できないか。
- 答** この区間については、花や緑がもっとあった方がいいとの意見もある。水やり等の管理体制や維持管理費用を含め検討している。



- 問** 健康寿命延伸のために市民への健康づくりが重要と思うが、具体的な取り組みは。
- 答** 食生活改善のための講座やウォーキングキャンペーンなどの各種イベントや一たはら健康マイレージ事業」を実施し、参加者は年々増加している。
- 問** 健康寿命延伸のために市民への健康づくりが重要と思うが、具体的な取り組みは。
- 答** 食生活改善のための講座やウォーキングキャンペーンなどの各種イベントや一たはら健康マイレージ事業」を実施し、参加者は年々増加している。
- 問** 新規事業「健幸アンバサダー」の目的と目標は。
- 答** 健康に関する生きた情報を広げ、健康な生活に活かしていたくために、1年間で100人程度の健幸アンバサダーを養成する。
- 問** 30年以上続いた健康カレンダーをなぜ廃止したのか。復活の可能性は。
- 答** 掲載すべき情報量が増大したため、ブック形式の情報誌に変更した。今後、さまざまな意見を踏まえ、判断していく。
- 問** 生活習慣病等の疾病予防と重症化予防の取り組みは。
- 答** 検診の受診率向上に向け、複数のがん検診等を同時に受けられるセット検診や休日検診を実施したり、託児付き検診日も設けている。また、必要な方には保健師等が訪問指導を実施している。特に昨年度から糖尿病性腎症の重症化予防に取り組んでいる。

田原市における健康寿命の延伸対策について

健康カレンダーを廃止したが、復活の可能性は

今後、さまざまな意見を踏まえ、判断していく



内藤 喜久枝
かがやき